

第 1 2 次水道事業経営審議会の審議状況等一覧

開催	出席委員	主な議題	概要・意見
第 1 回 平成30年10月19日 (2018年)	19名	(1)委嘱状交付 (2)正副会長選出 (3)経営審議会の概要と審議経過 (4)水道事業の現状と課題 (5)水道事業の財政状況について	(概要) 審議会の概要や今後の審議経過や水道事業の現状や課題などについて説明。 (意見) ・水道いどばた会議は、大変良い取組であると思うので、より多くの人に参加してもらえよう広報・PR方法の検討が必要。 ・ホームページやSNSなどのインターネットによるものだけでなく、停電時や高齢者への配慮なども考慮した情報発信が必要。 ・老朽化した施設・管路の更新費用が必要になる一方、水需要が減少していく状況の中では、適正な料金水準についてもっとアピールするべきではないか。
第 2 回 平成31年1月22日 (2019年)	17名	(1)今後の審議について (2)水道事業の新たな基本計画(案)の中間報告 (3)水道事業の経営状況と適正な料金水準 (4)消費税引上げに伴う今後の対応	(概要) 審議会の今後の審議予定について説明、水道事業の新たな基本計画(案)、経営状況と適正な料金水準、消費税引上げに伴う今後の対応についての説明・質疑応答。 (意見) ・管路の更新については更新のボリュームよりも、それがどのような効果を生むのかということをも市民にもわかりやすく説明できることが必要。 ・管路更新などの優先順位を決めていく際には、フューチャー・デザインによる将来の視点から評価していくことが必要であると考え。
第 3 回 令和元年5月21日 (2019年)	19名	(1)水道事業の新たな基本計画(案)の中間報告 (2)水道事業の経営状況と適正な料金水準	(概要) 水道事業の新たな基本計画(案)の基本理念・基本方針・施策、本市水道事業の経営状況や適正な料金水準などについて説明。 (意見) ・基本方針として「地域」を加えるのは、市民・地域との関わりという点で非常に大事なことである。 ・本市の水道水の水質についてもっとPRしてはどうか。 ・地下水利用専用水道についての対応を今以上に考える必要がある。 ・料金値上げは市民生活に影響するので、国に補助金などの支援策を働きかける必要がある。 ・将来的にも民営化することのないようにしてほしい。